

# JUKI

電子ミシン

# NEW TIARE-S

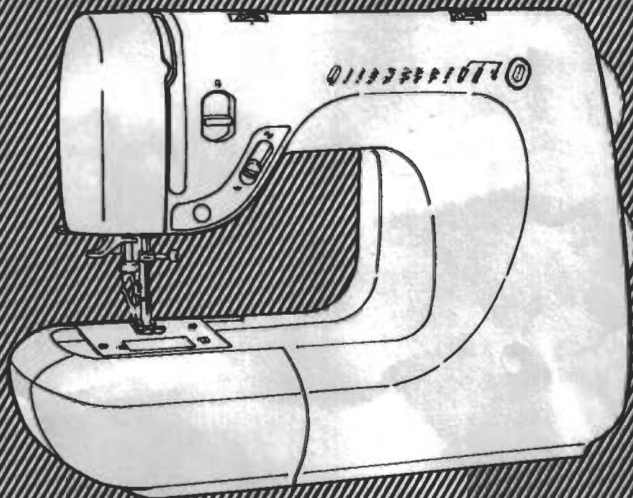
ティアレス  
HZL-71

## 取扱説明書



注意

安全にご使用していただくため、  
ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、いつでも  
ご覧になれますように保管ください。



お買い上げいただきましてまことにありがとうございます。









このミシンの特長をご理解していただき、正しく安全にご使用していただくために  
どうぞこの「取扱説明書」をよくご覧ください。

## 安全にご使用いただくために



このミシンを安全にご使用していただくために、下記のことがらは必ずお守りください。

このミシンは日本国内向け、家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY



<p><b>警告</b> このマークの表示は感電、火災の原因となりますから、特にご注意ください。</p> <p>1. 一般家庭用交流電源100Vでご使用ください。</p> <p>2. 下記のようなときは電源を切り、室内コンセントから電源プラグを抜いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミシンのそばを離れるとき。</li> <li>・ミシンをご使用になったあと。</li> <li>・ミシンのご使用中に停電したとき。</li> </ul> 	<p>3. ミシンを操作するときはかま部などカバー類を閉じてください。</p> <p>4. ミシンの縫製中は針から目を離さないようにし、針、はすみ車(フリー)、天びんなど、すべての動いている部分に手を近づけないでください。</p> <p>5. 針折れの原因になるような曲がった針はご使用にならないでください。</p> <p>6. 針折れの原因になりますので、縫製中に布を無理に引張ったり、押ししたりしないでください。</p> <p>7. お子様かミシンをご使用になるときや、お子様の近くでのご使用される場合は、特に安全にご注意ください。</p>    	<p>8. 下記のことを行うときは、電源を切ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・針、針板、押え、アタッチメントなどを交換するとき。</li> <li>・下糸、上糸をセットするとき。</li> <li>・ランプを交換するとき。(ランプが冷えてから行ってください。)</li> <li>・取扱説明書に記載のあるミシンのお手入れを行うとき。</li> </ul> <p>9. 落下しやすい場所でのミシンのご使用、保管はしないでください。</p> <p>10. ミシンやコントローラーに下記の異常があるときは速やかに使用停止し、最寄りの販売店にて点検、修理、調整をお受けください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正常に作動しないとき。</li> <li>・落下などにより破損したとき。</li> <li>・水に濡れたとき。</li> <li>・電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき。</li> <li>・異常な臭い、音が出るとき。</li> </ul> 
<p><b>注意</b> このマークの表示は感電、火災、けがの原因となりますから、特にご注意ください。</p> <p>1. コントローラーの上に物をのせないでください。(コントローラーは別売品です)</p> <p>2. お客様自身での分解、改造はしないでください。</p>  		

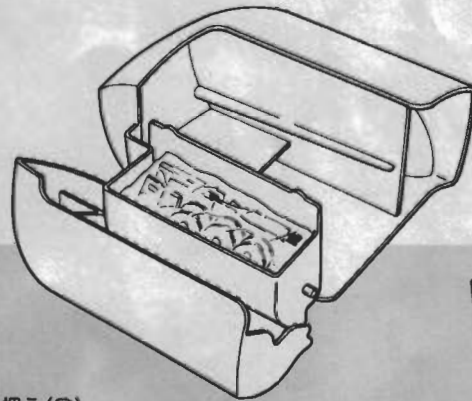
### その他のご注意

<p>長時間のゆっくりぬいを続けると異常発生を防ぐため、ミシンが止るようになっています。</p>  <p>約20分で安全装置が復帰して正常にご使用できます。</p>	<p>直射日光が当たる場所、湿気が多い場所には置かないでください。</p> 	<p>シンナーなどの溶剤で拭かないでください。</p>  <p>柔らかい布に中性洗剤を少量つけて、良く拭き取ってください。</p>
---	---	---

## もくじ

安全にご使用いただくために……………	1	直線ぬい……………	9
付属品……………	2	返しぬい(ほつれ止め)	
各部のなまえ……………	3	ジグザグぬい……………	10
フリーアームのセット		ボタン穴かがりぬい……………	10
主なはたらき……………	4	芯入りボタン穴かがりぬい……………	11
下糸の準備……………	5	ファスナーつけ……………	11
下糸巻きの糸のかけ方		裁ち目かがりぬい……………	12
ボピンを内かまに入れるには		伸縮強化ぬい……………	12
上糸のかけ方……………	6	まつりぬい……………	12
針自動糸通し		突き合わせぬい……………	13
下糸の引きあげ方			
押えのとりかえ方……………	7	ランプの交換……………	13
針について……………	7	ミシンの手入れ(掃除)……………	13
針の交換、針の選び方、調べ方		コントローラー(別売品)のご案内……………	14
押えと各模様の関係……………	7	仕様表……………	14
糸調子の合わせ方……………	8	故障かな…というときは……………	裏表紙
各模様のぬい目の長さ調節範囲……………	8	アフターサービスと保証……………	裏表紙
布地・ミシン糸・ミシン針の関係と合わせ方……………	8		

HZL-71

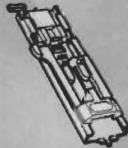


補助ベッドの中に  
付属品が入っています。

### ■付属品



基本押え(A)  
(最初ミシン本体にと  
りつけてあります)



ボタン穴かがり押え(E)



裁ち目かがり押え(C)



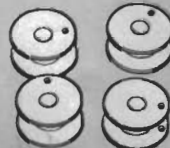
針 (HAx1 11番 1本)



ブラインドステッチ押え  
(D)



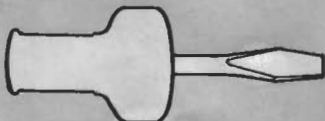
ファスナー押え(B)



ボピン(4ヶ)



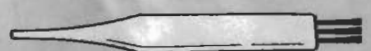
ドライバー



専用ドライバー

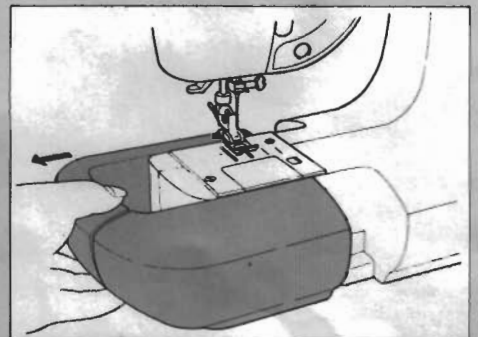
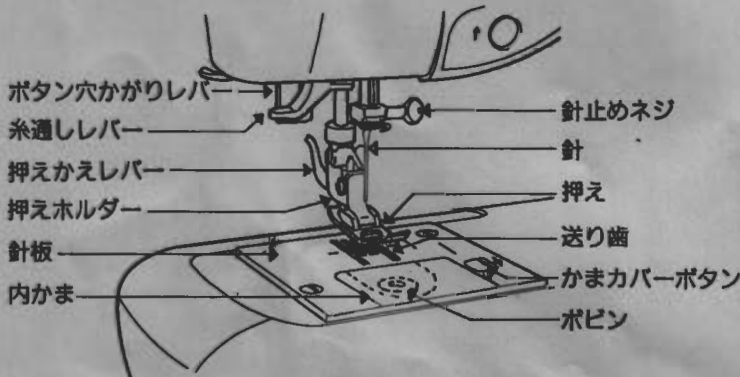
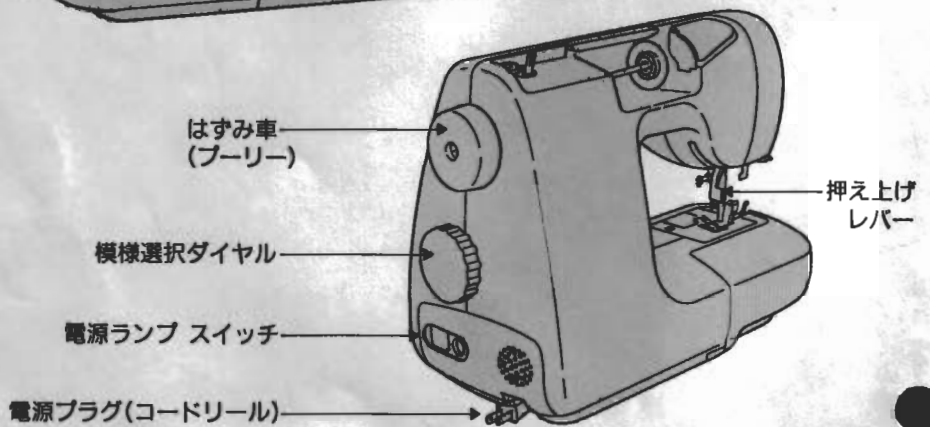
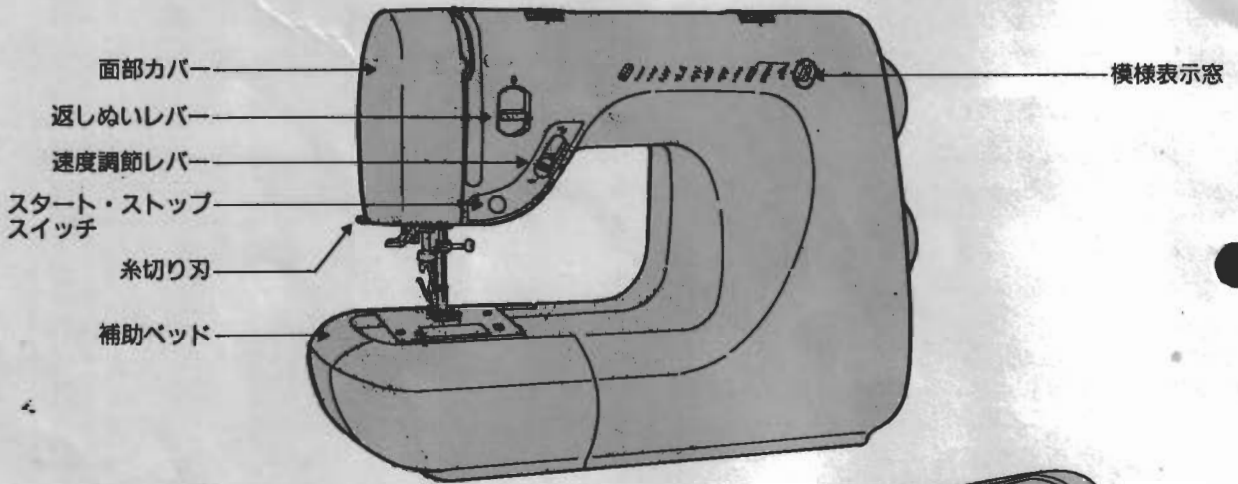
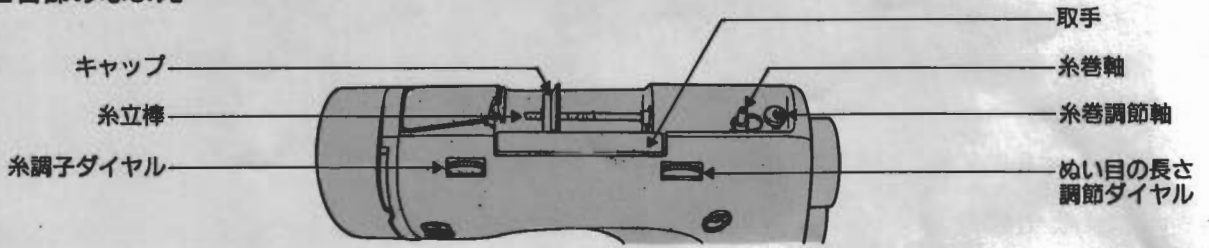


リッパー(糸ほどこ)



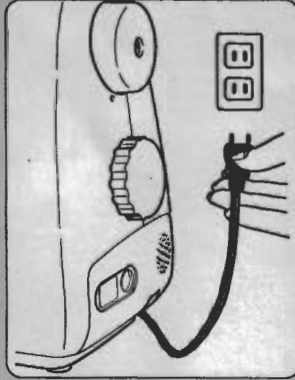
掃除用ブラシ

# ■各部のなまえ



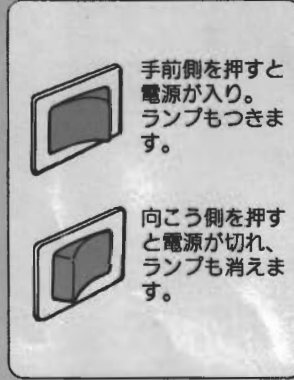
## ■主な はたらき

### 電源・コードリール



コードを引き出します。  
コードを少し引いてゆるめま  
すと巻きこみます。

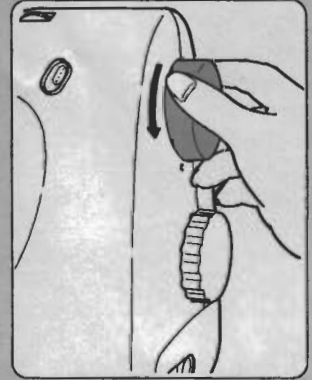
### 電源ランプ スイッチ



手前側を押すと  
電源が入り。  
ランプもつきま  
す。

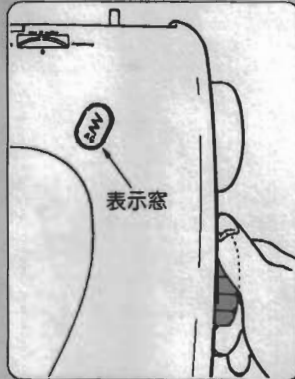
向こう側を押す  
と電源が切れ、  
ランプも消えま  
す。

### はずみ車



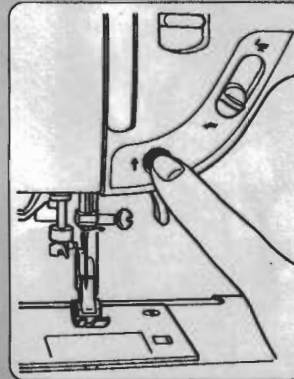
はずみ車を回すと針が上下しま  
す。  
はずみ車は、必ず手前に回して  
ください。

### 模様選択ダイヤルと表示窓



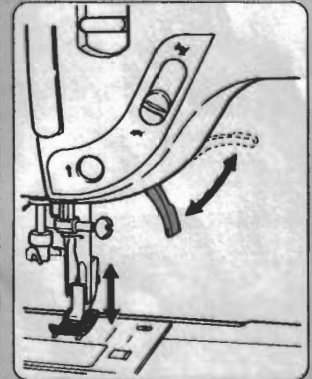
模様選択ダイヤルを回し、  
表示窓に出した模様が始めます。

### スタート・ストップスイッチ



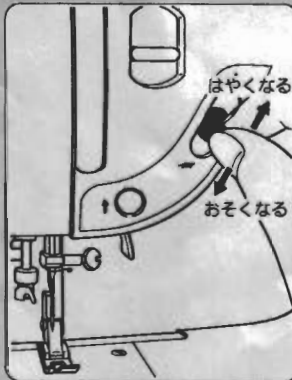
ミシンをスタートさせます。  
再度押すとストップします。

### 押え上げレバー



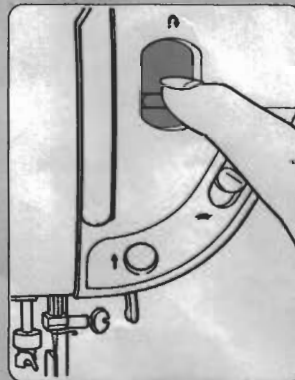
上にあげると押えがあがります。  
下へさげると押えはさがります。

### ぬい速度調節レバー



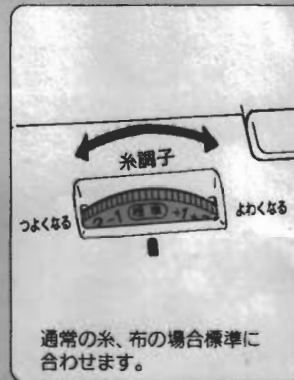
ぬい速度を調節します。

### 返しぬいレバー



ぬい始め、ぬい終りにレバーを  
押すと返しぬいができます。

### 糸調子ダイヤル



左に回すと上糸調子が強くなり  
右に回すと弱くなります。

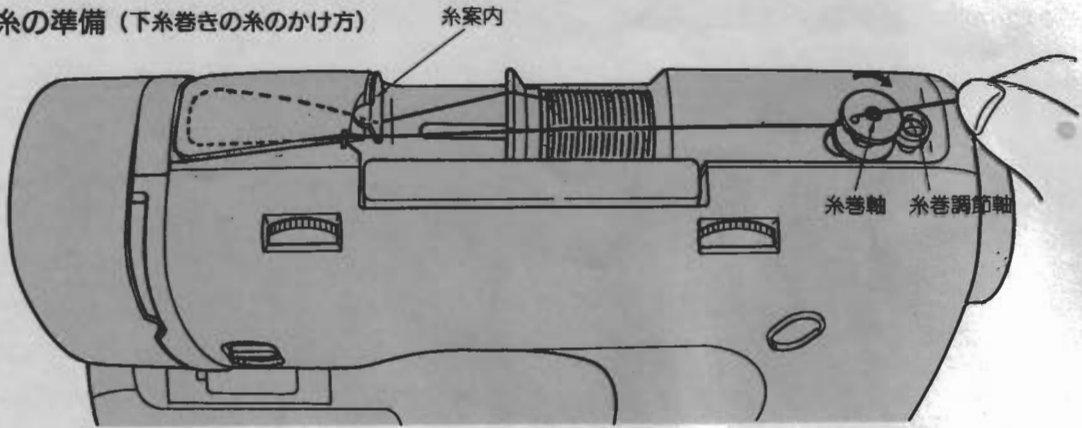
### ぬい目の長さ調節ダイヤル



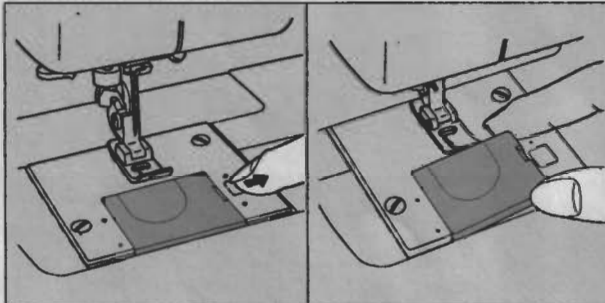
この模様は自動的に最適な  
ぬい目が設定されていま  
すので調節することはで  
きません。

数字が小さくなるとこまかく、  
大きくなると荒くなります。

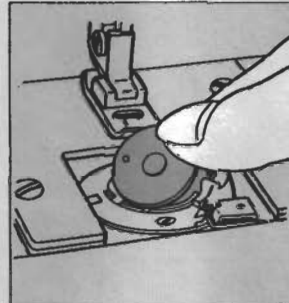
■下糸の準備 (下糸巻きの糸のかけ方)



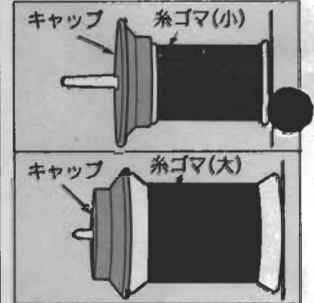
1 かまカバーを開けます



2 ボビンをとり出します



3 糸ゴマをセットします

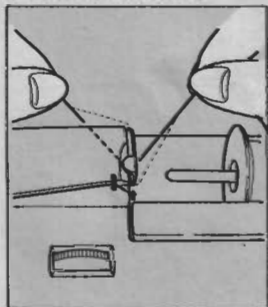


糸ゴマの外周に応じてキャップの裏表をかえてとりつけます。



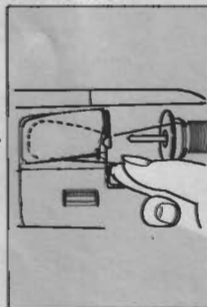
**注意** かまカバーを開けるときは電源スイッチを切ってください。

4 糸案内に入れます

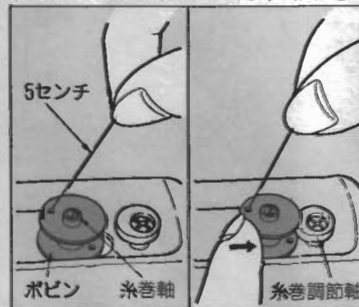


手前から向こう側に入れます。

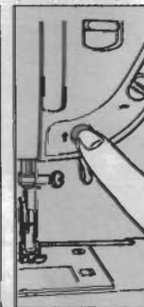
5 ミソにそってかけます



6 ボビンを糸巻軸にセットします



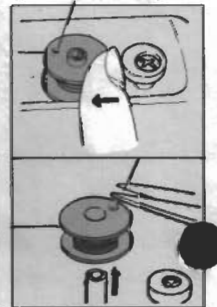
7 スタートさせます



ボビンを糸巻調節軸へ押しつけます。

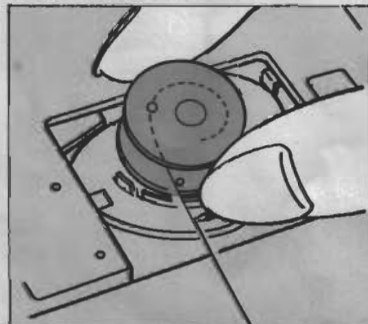
巻き終わったら再度スタートストップスイッチを押します。

8 ボビンを左側へもどします

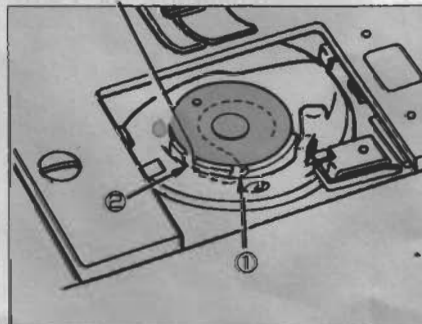


余分な糸を切りボビンを取り出します。

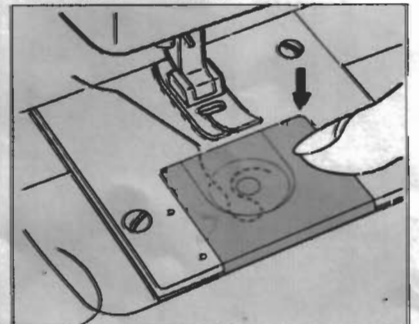
9 内かまに入れます



10 内かまに糸をかけます

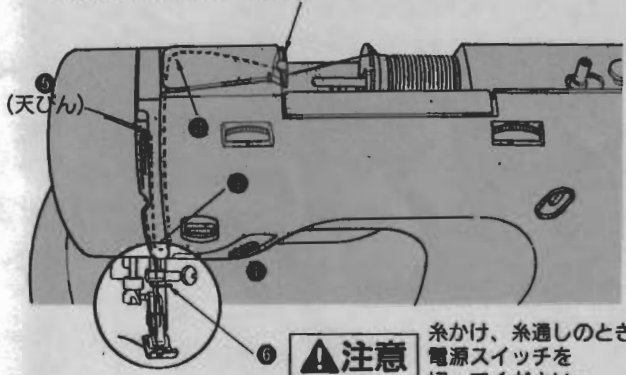


11 かまカバーを閉じます

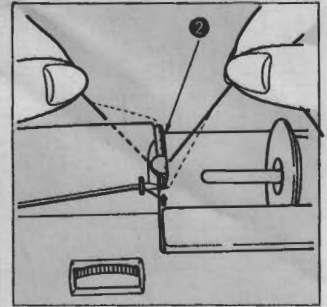
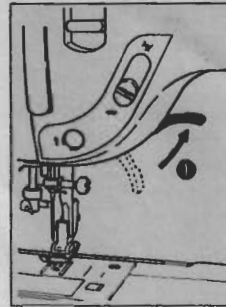


ボビンの糸の巻き方向をまちがわないように / ①に糸をかけ ②のミソの上のせ後ろへもって行きます。

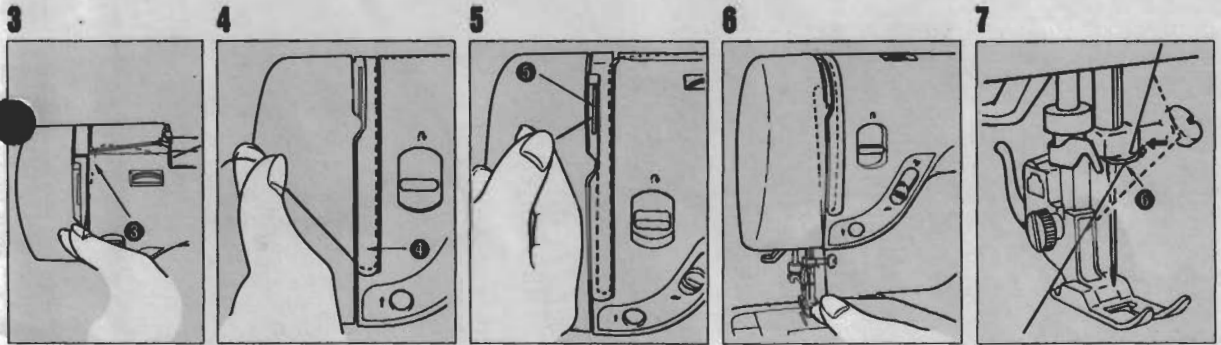
■上糸のかけ方 ②(糸案内)



- 最初に押え上げ  
1 レバーをあげます 2 糸案内にかけます



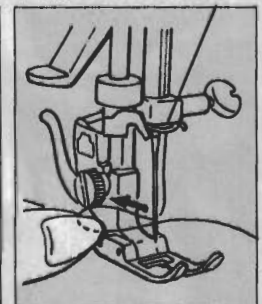
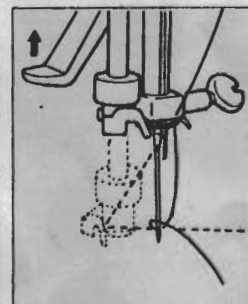
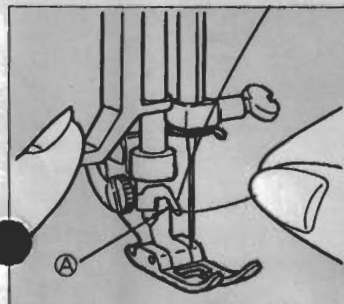
押えをあげると糸調子 手前から向こう側へ入れます。皿が開きます。



- 3 ①から下へおろします。 4 ①から上にもって行きます。 5 ③天びんにかけます。 6 ⑥は右側からかけます。

針自動糸通し

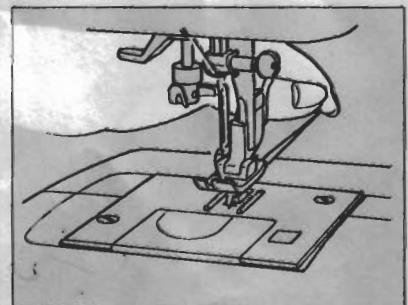
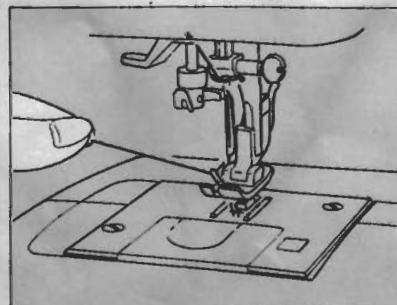
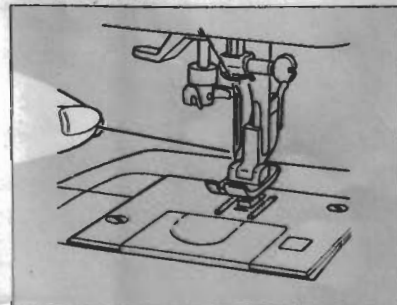
- 1 押えをさげ糸通しレバーをさげます 2 フックにかけます 3 糸通しレバーをあげます 4 糸をひき出します



針が一番上にあげ糸通しレバーを途中(重くなる直前)までさげてAに糸をかけます。 さらに糸通しレバーをさげてフックに糸をかけます。 指をはなすとフックに糸をひっかけて針穴に通します。 通した糸を針穴から10センチくらい引き出します。

下糸の引きあげ方

- 1 上糸を軽くもちます 2 はずみ車を手前に回します 3 上・下糸を10センチ出します



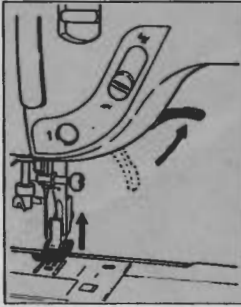
針が上下して下糸を引き出します。 上・下糸を押えの下にして後ろへそえて出します。

## ■押えのとりかえ方

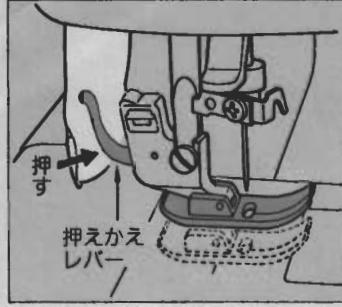


**注意** 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

### 1 押えを上げます

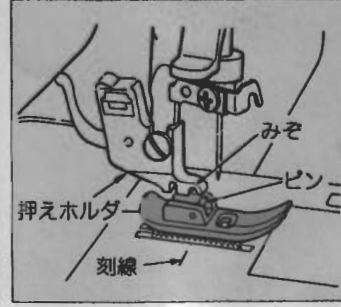


### 2 押えをはずします

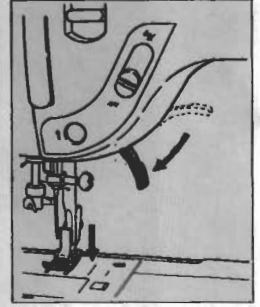


押えかえボタンを矢印の方向に押し  
ます。

### 3 押えのピンと刻線を合わせます



### 4 押えを下げます



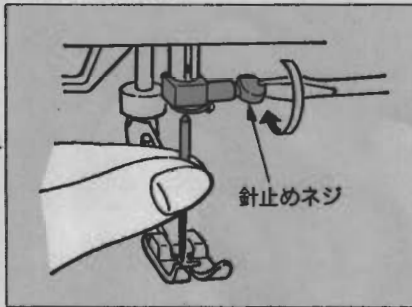
押え上げレバーを下げる  
と押えはセットされます。

## ■針について



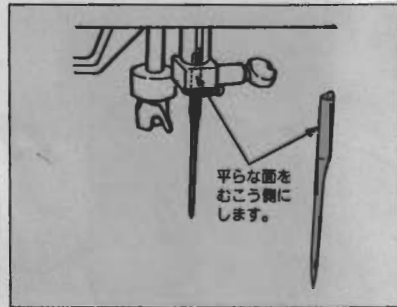
**注意** 針の交換のときは電源スイッチを切ってください。

### 1 針の はずし方

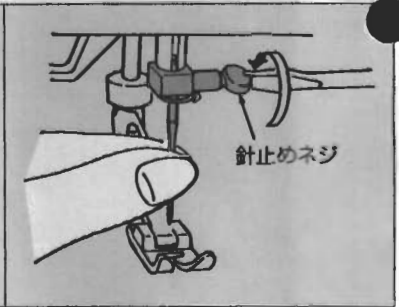


針を最上部にあげ針止めネジをゆるめます。

### 2 針の とりつけ方



針の平らな面をむこう側にして  
上方へ当たるまで差しこみます。



専用ドライバーで針止めネジをかたく  
しめます。

### ●針の選び方

針をお求めの際は  
家庭用ミシン針のHA×I または  
HA×ISP(ニット針)を指定します。



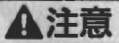
太さの番号表示  
数字が大きくなると  
針が太くなります。

### ●針の調べ方



すき間が針先まで平均に見え  
るのが良い針です。  
針先が曲ったり、つぶれてい  
るものは使わないようにしま  
す。

## ■押えと各模様の関係



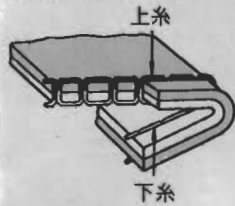
**注意** 押えをまちがえますと針がぶつかり折れたり曲ったりしますのでご注意ください

押 え	基本押え					ファスナー押え	裁ち目かがり 押え	フラインド ステッチ押え	ボタン穴かがり押え
	押え記号A					押え記号B	押え記号C	押え記号D	押え記号E
模様	—		〰〰〰 (小)(中)(大)	〰〰〰	〰〰〰	—	〰〰〰 (大)	〰〰〰	
主な用途	直線ぬい	伸縮強化ぬい	ジグザグぬい	三点ジグザグ 裁ち目かがり	パッチワーク	ファスナーつけ	裁ち目かがり (オーバーロック)	フラインド ステッチ (まつりぬい)	ボタン穴かがり



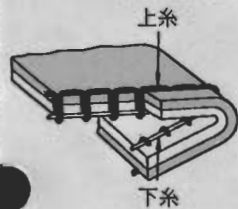
## ■糸調子の合わせ方

### ○ 正しい糸調子



上糸と下糸のからみが布の中心にくるのが正しい糸調子です。

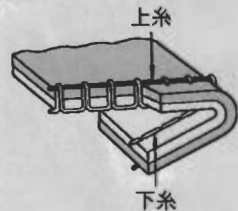
### × 上糸の調子が弱いとき



糸調子ダイヤル目盛の数字を大きくします。



### × 上糸の調子が強いとき



糸調子ダイヤル目盛の数字を小さくします。



## ■各模様のおい目の長さ調節範囲



模 様	調節範囲	調節(0.5~4)例
直 線	0~4	~
ジグザグ	0~4	~~~~ ~ > ~~~~ ~ > ~~~~ ~ >
ブラインド	0~4	~~~~ ~ > ~~~~ ~ >
三点ジグザグ	0~4	~~~~ ~ >
スーパー模様	自動	自動的に最適なおい目の長さが設定されていますので調節できません。
ボタン穴かがり	0.2~1	□ ~ □ (0.2) ~ (1)

## ■布地・ミシン糸・ミシン針の関係とミシンの合わせ方

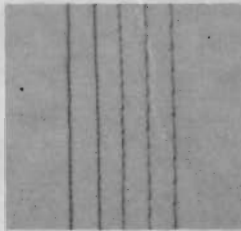
	布 地	ミ シ ン 糸	ミシン針	おい目の長さ		糸調子の目安
				直線おい	ジグザグおい	
				おい目の長さ 2 3		糸調子 2.1 (標準) 2.3
薄地おい	ローン	綿ミシン糸 80~100番	HA×1 (9番)	1~3	1~4	糸調子 2.1 (標準) 2.3
	ジョーゼット	化繊・細ミシン糸 90・100番	11番			
	トリコット	化繊ミシン糸 60~100番	ニット針 11番			
	ウール・化繊布	綿ミシン糸 80番 化繊ミシン糸 60~100番	11番			
普通地おい	普通木綿・化繊布	綿 糸 50~80番 化繊ミシン糸 50~60番	11~14番	1.5~3	0.5~4	糸調子 2.1 (標準) 2.3
	薄手ジャージー	綿ミシン糸 50番 化繊ミシン糸 50~60番	ニット針 11番			
	一般ウール・化繊服地		11~14番			
厚地おい	デニム	綿 糸 30~50番 化繊ミシン糸 30~50番	14~16番	2~4	0.5~4	糸調子 2.1 (標準) 2.3
	ジャージー	綿ミシン糸 50番 化繊ミシン糸 50~60番	ニット針 11~14番			
	コート地	綿ミシン糸 50番	11~14番			

※ニット針(HA×1sp)は目とびを防ぎ伸縮性の布地に適します。

※フィラメント糸の場合は糸調子をやや弱めにします。

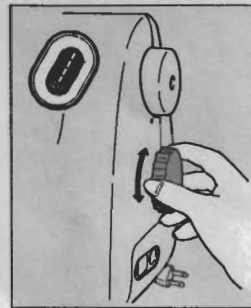
**▲注意** 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

■直線ぬい



直線ぬいはぬいの基本です。布地に適した針と糸を選びましょう。

1 直線模様を選びます



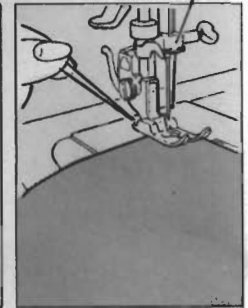
模様選択ダイヤルを回して合ませます。

2 とりつけます



基本押え(A)

3 布地を入れ 押えをさげます



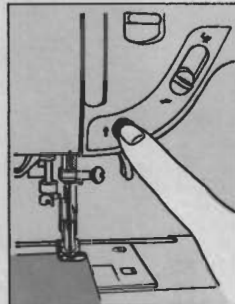
布地を押えの下におきぬい始める位置に針を落とします。上下糸をそろえて押えをさげます。

4 ぬい目の長さを決めます



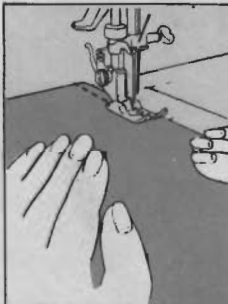
ぬい目の長さ調節ダイヤルを回します。

5 スタートさせます



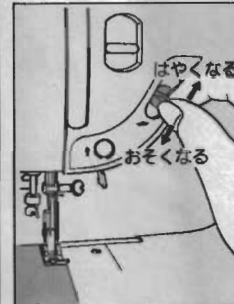
スタート・ストップスイッチを押します。

6 布地に軽く手をそえます



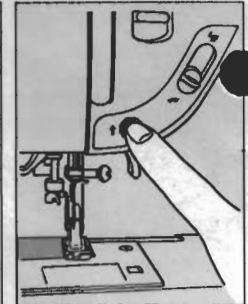
ぬっている間は布地をむりに引っぱらないようにします。

7 ぬい速度を調節します



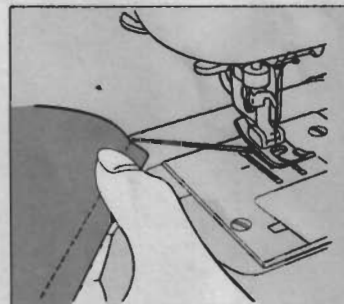
上にするとはやくなり 下にするとおおくなります。

8 ストップさせます



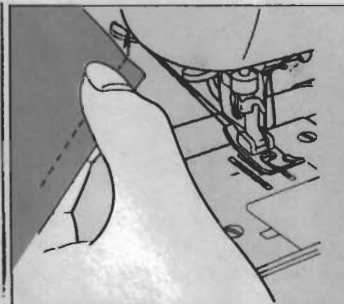
スタート・ストップスイッチを押します。

9 押えをあげて布地をとり出します



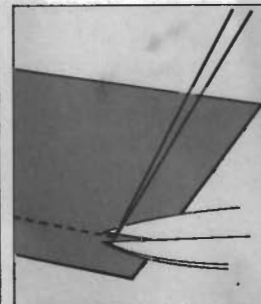
針が完全に止まってから、押え上げレバーをあげます。

10 糸を切ります



上・下糸をそろえて10センチくらい引き出し面部の糸切り刃で糸を切ります。

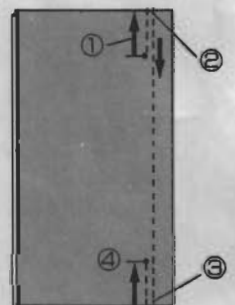
11 糸を結びます



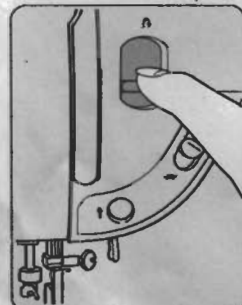
布地の裏側に上糸を引き出し上糸と下糸を結び 結び目のきわで糸を切ります。

■返しぬい

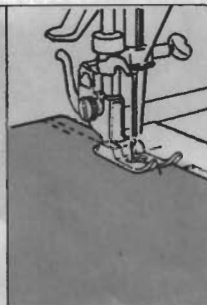
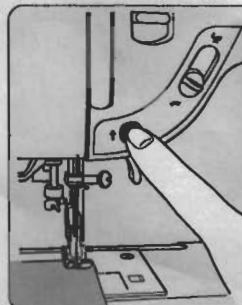
(ほつれ止め)



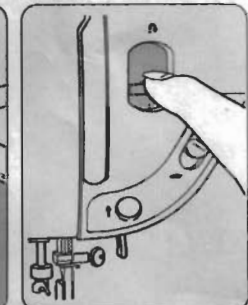
①返しぬいレバーを押します ②スタートスイッチを押します



返しぬいレバーを押している間だけ返しぬいをします。



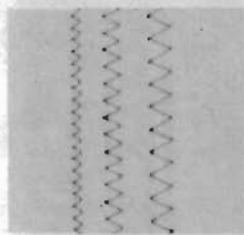
③④返しぬいをします



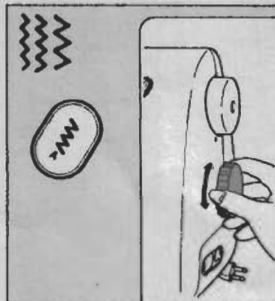
指をはなすとストップします。

**▲注意** 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

■ジグザグぬい



1 ジグザグ模様を選びます



3種類のうち お好みの振り幅模様に合わせて。

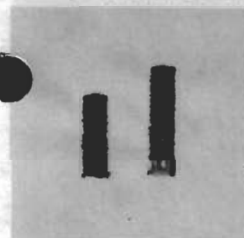
2 とりつけます



●ジグザグの振り幅とぬい目の長さの関係

ジグザグの振り幅	小 1.5	中 3.3	大 5
ぬい目の長さ	0.5 4	0.5 4	0.5 4

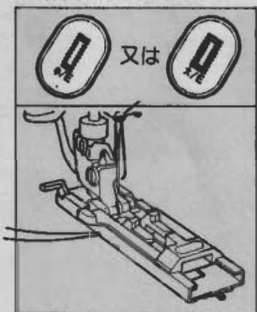
■ボタン穴かがり



うすい布地で Yシャツ、ブラウスほどの小さいボタンに通します。

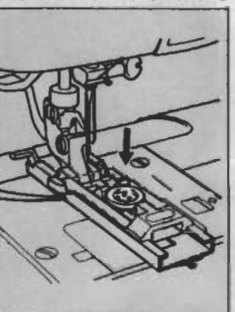
厚い布地で上衣などの大きいボタンに通します。

1 ボタン穴かがりの模様と押え (E)を選びとりつけます

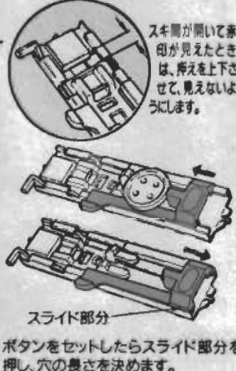


上・下糸を横に出します。

2 ボタンをセットします

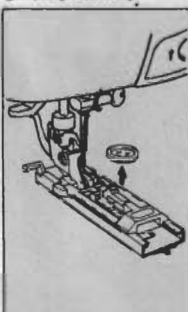


かがり穴の長さはボタンをセットするだけで自動的に決ります。(押えにボタンがのらないときは、ボタンの直径+ボタンの厚みが、かがり穴の長さです。)



ボタンをセットしたらスライド部分を押し、穴の長さを決めます。

3 ボタンをはずします



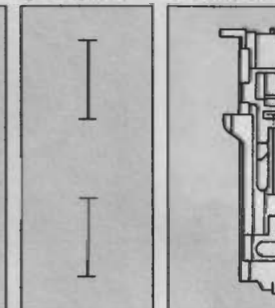
長さが決まりましたらボタンをはずします。

**▲注意** 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

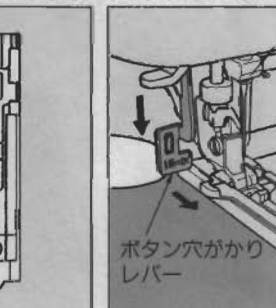
4 ぬい目の長さを合わせます



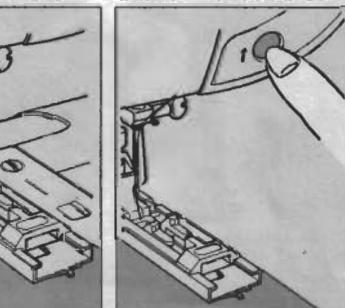
5 布地に印を付けます



6 布地に印を合わせ



7 ボタン穴かがりレバーを下げて手前に引きます

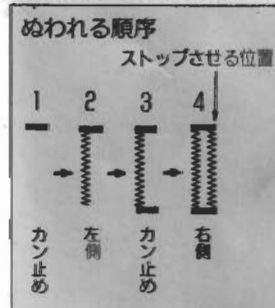


\*ボタン穴かがりの途中で糸が切れたり、失敗した場合は針から糸をぬいて最後の位置まで空縫いをします。そして最初からぬい始めます。

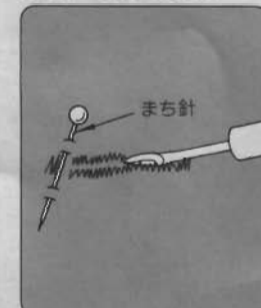
左右のぬい目の粗さが合わないときの調整方法

**▲注意** ぬい目を調整するときは電源スイッチを切ってください。

最後までぬい終わりましたらストップさせます



リッパーで穴をあけます



切りすぎないように まち針を使うと失敗しません。

はすみ車の下の調整穴にドライバーをさし込み、ぬい目の状態に合わせて調整します。

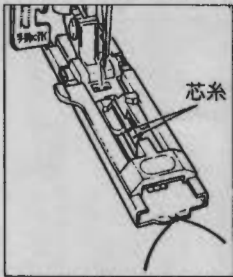
右側が粗すぎるとき  
ぬい目を見ながら少しづつ(45°ぐらい)回して試しぬいをし、合わせてください。

右側が細かすぎるとき  
回しすぎるとネジが外れたり、トラブルの原因となりますのでご注意ください。

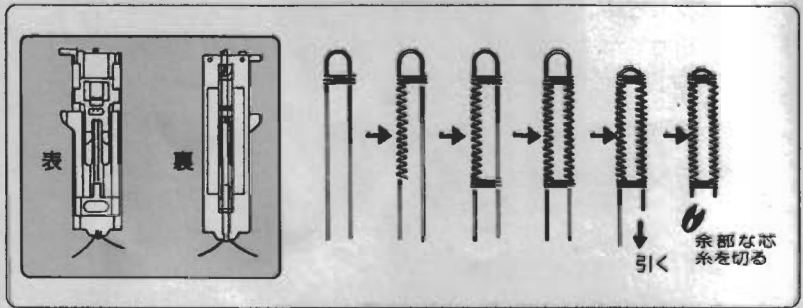
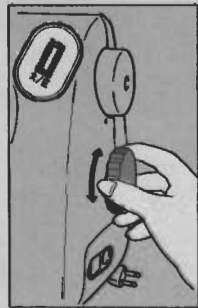
左側のぬい目を基準として 右側のぬい目を調整します。

## ■ 芯入りボタン穴かがり

1 大きいボタン穴の模様を選びます

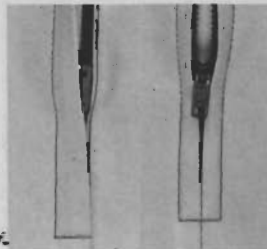


芯糸を入れてぬうとボタン穴の伸びを防ぎ、丈夫なボタン穴かがりができます。芯糸にはレース糸、または穴糸を使用します。



芯糸入りのボタン穴かがりをするときは、芯糸をボタン穴かがり押えの裏側の先端にひっかけて裏側の手前側を結びます。そのままボタン穴かがり押えを取りつけて穴かがりをすれば、芯糸入りのボタン穴かがりができます。

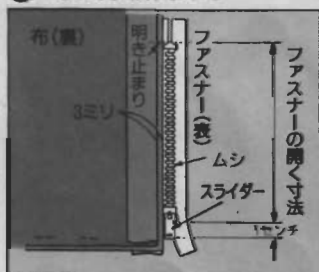
## ■ ファスナーつけ



ファスナーつけは一般的に脇明きファスナーつけとつき合わせファスナーつけがあります。

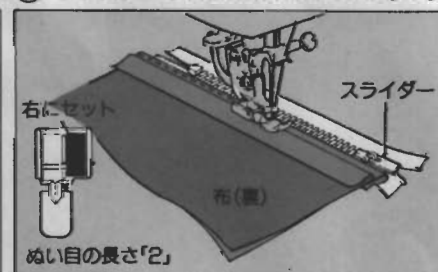
### 脇明きファスナーつけ

① ぬい代をわります



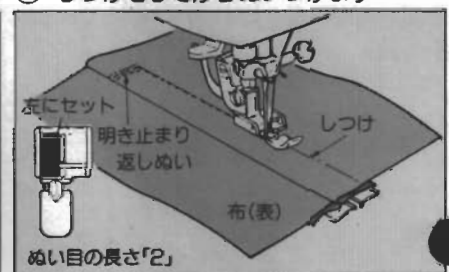
ぬい代をきちんとわり、後ろ布のぬい代を3ミリ出して、アイロンで折り目をつけ折り山をムシのきわにあてます。

② ファスナーの下から上方にぬいつけます



押えの端をムシのきわに当ててぬいます。ファスナーのスライダーのところは手前5センチ位でミシンを止め、スライダーを押えの向こう側へさげて端までぬいつけます。

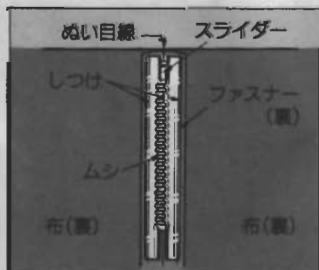
③ 上布をファスナーの上にかぶせしつけをしてからぬいつけます



スライダーを引きあげて、上布をファスナーの上にかぶせしつけをします。明き止まりに返しぬいをして図のようにぬいます。スライダーのところは仮のぬい目をほどいてスライダーをさげ、残りをぬいます。

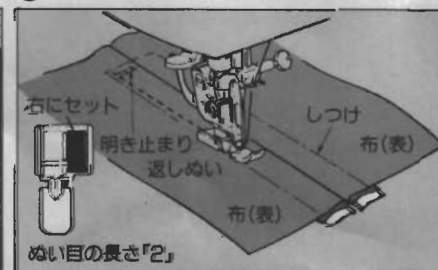
### つき合わせファスナーつけ

① ファスナーをしつけます

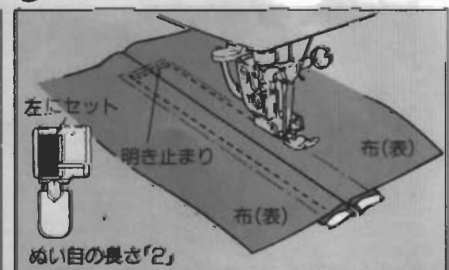


ぬい代をわり、ぬい目線にファスナーのムシの中心を合わせて、しつけをします。

② 左側を明き止まりからぬいます

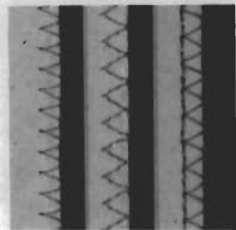


③ 右側をぬいます



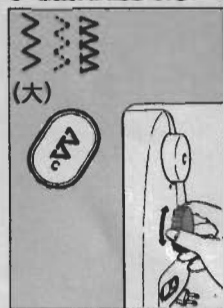
ぬい終わりましたら仮りのぬい目をほどきます。

## ■裁ち目かがり



**注意** 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

1 模様を選びます



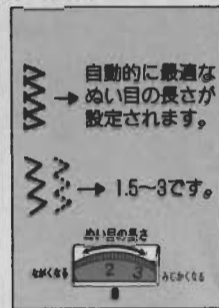
3種類のうち お好みの模様を合わせます。

2 押えをかえます



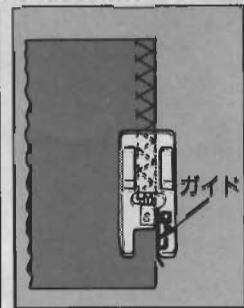
※三点ジグザグぬいは必ず基本押え(A)をお使いください。

3 ぬい目の長さを決めます



自動的に最適なぬい目の長さが設定されます。

4 裁ち目かがり押え(C)を使う場合



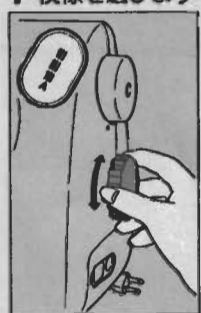
布端をガイドにあててぬいします。

## ■伸縮強化ぬい (ストレッチステッチ)

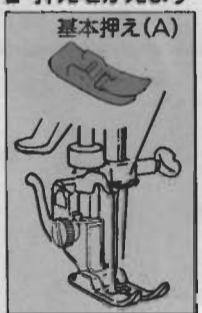
伸縮性のある布地や、力がかかってほつれやすい部分などに使うとぬい目がしっかりします。

**注意** 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

1 模様を選びます



2 押えをかえます



3 自動的に決まります

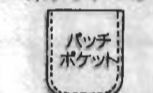
この模様はぬい目の長さ調節ダイヤルの目盛がどこの位置にあっても自動的に最適なぬい目になります。

## ■使用例

●袖つけ  
後ろ袖や、袖下に力がかかりほつれやすいところに使います。



●よく使用するポケットつけ



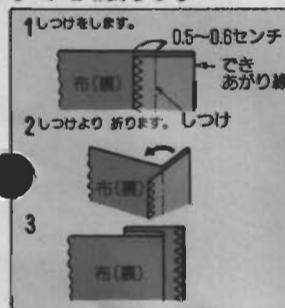
●袋ものにとってつけ



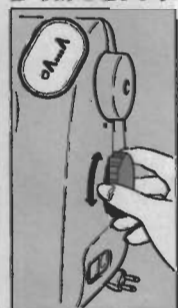
## ■まつりぬい (ブラインドステッチ)

裁ち目かがりをして

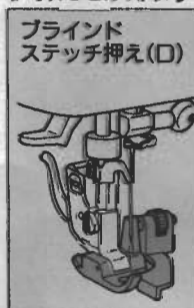
1 布地を折ります



2 模様を選びます

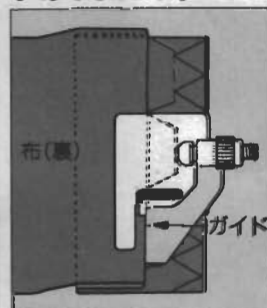


3 押えをかえます



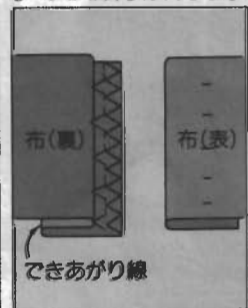
押えのガイドに

4 あててぬいします



押えのガイドを折り山にピッタリあててぬいします。

5 布地を折りかえします

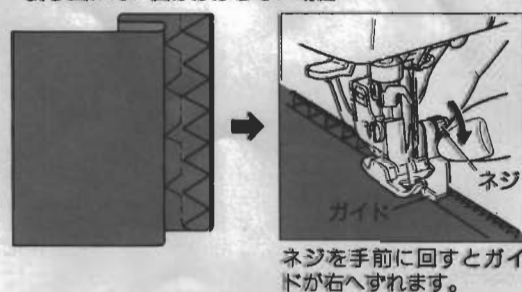


ぬい終わりましたら、布地を折りかえしアイロンでととのえます。

※ぬい目の長さは2-4にします。

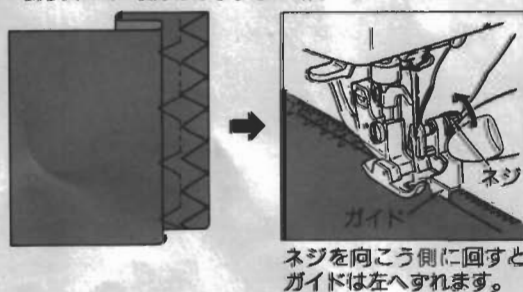
## ●ブラインドステッチ押えのガイド調節方法

●折り山にぬい目がかからない場合



ネジを手前に回すとガイドが右へずれます。

●折り山にぬい目がかかりすぎた場合



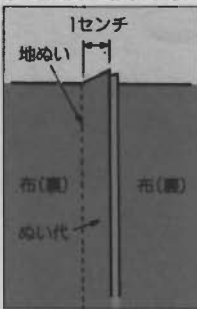
ネジを向こう側に回すとガイドは左へずれます。

■突き合わせぬい  
(パッチワーク)

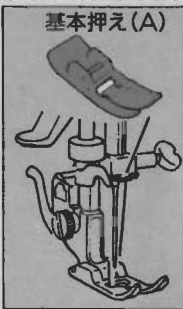
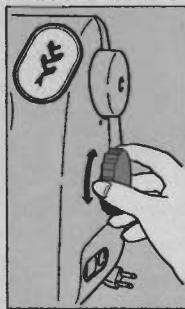
**▲注意** 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

ぬい目の長さは

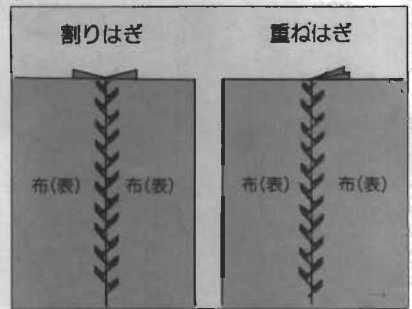
- 1 地ぬいをします 2 模様を選びます 3 押えを確かめます 4 自動的に決まります 5



2枚の布地に地ぬいをします。



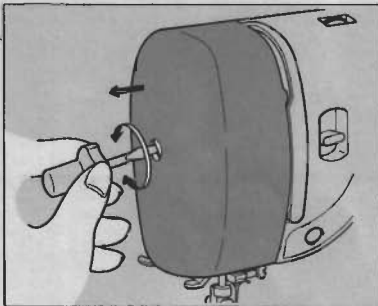
この模様はぬい目の長さ調節ダイヤルの自盛りがどの位置にあっても自動的に最適なぬい目になります。



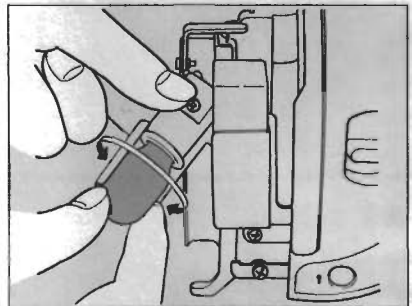
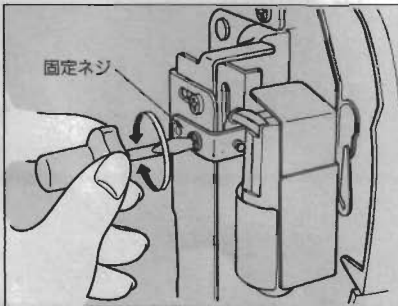
両方の布地に模様がまたがるようにぬいます。

■ランプの交換 (面部カバーのとりはずし方)

**▲注意** ランプの交換のときは電源スイッチを切り、室内コンセントからプラグを抜いてください。



面部カバーの前面の止めネジをまわし、ランプ固定ネジをはずします。面部カバーをはずします。



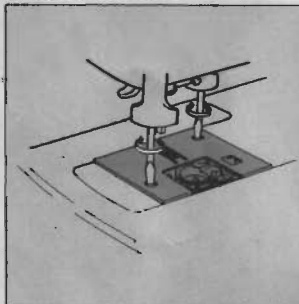
- ランプの消費電力は15Wです。
- ランプのお買い求めは、このミシンをお買い上げいただきました販売店でお願いします。

■ミシンの手入れ

**▲注意** ミシンのお手入れをするときは電源スイッチを切り、室内コンセントからプラグを抜いてください。

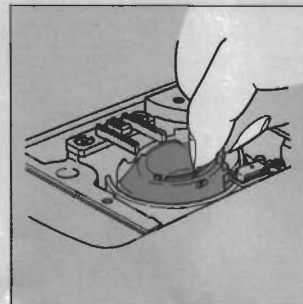
●掃除

針板をはずします

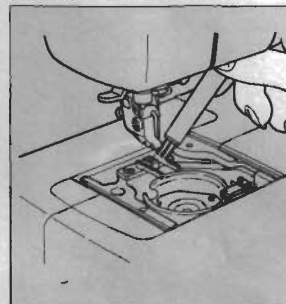


針や押えをはずしてから針板をはずします。

内かまをとりはずします

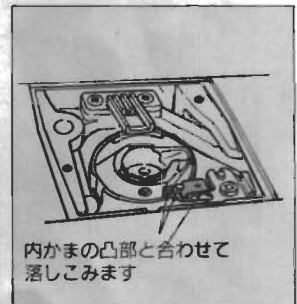


掃除用ブラシを使います



送り歯とかまの中と周辺をきれいにします。たくさんたまってしまったときは掃除機を使うときれになります。

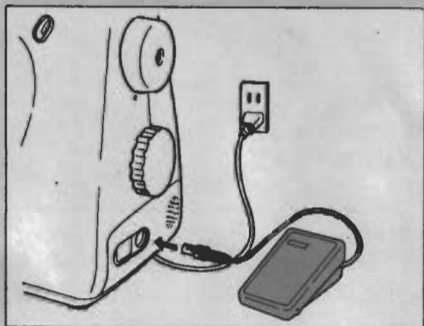
内かまのセットの仕方



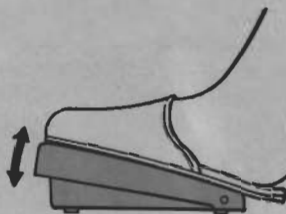
内かまの凸部と合わせて落こみます

## ■コントローラー(別売品)のご案内

コントローラーを使いますと足の操作でスタートとストップからスピードコントロールができます。



コントローラーのプラグをミシンのコンセントに差しこみます。



スタートストップスイッチはストップのみ有効です。

### ▲注意

ミシンにセットしてあるコントローラーの上に物をのせないでください

コントローラを深く踏むと速くなり、浅く踏むと遅くなります。足をはなすとミシンは止まります。針は上で止まります。

※速度調節レバーの位置により最高速度が変化します。速度調節レバーを一番上にしておくとゆっくりから最高速度までコントロールできます。

## ■仕様表

項目	仕様
本体寸法	幅378×高さ177×奥行281(mm)
ケースセット時寸法	幅415×高さ205×奥行290(mm)
重量	7.1kg(ケースセット時7.8kg)
定格電圧/消費電力	100V/90W 50/60Hz
ランプ消費電力	100V/15W

## ■故障かな…というときは

下記のような場合は故障ではありません。サービスをお申しつける前にもう一度確かめください。

現象	原因(理由)	処置方法	ページ
布が送らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ミシンが空転しているとき</li> <li>● 送り(ぬい目の長さ)が「0」になっているとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 糸巻軸を左へもどします</li> <li>● 送り「1~4」に合わせます</li> </ul>	5 8
針が折れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 針のとりつけ方が間違っているとき</li> <li>● 針が曲がっているとき</li> <li>● 押えと選んだ模様合わないとき</li> <li>● 針・糸・布地の関係が悪いとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 正しくとりつけます</li> <li>● 新しい針にとりかえます</li> <li>● 模様に合った押えを使います</li> <li>● 布地に合った針・糸を使います</li> </ul>	7 7 7 8
上糸が切れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 糸のかけ方が間違っているとき</li> <li>● 糸が必要以外の所へからんでいるとき</li> <li>● 上糸の調子が強すぎる時</li> <li>● 針が曲がっているとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 正しくかけ直します</li> <li>● 糸立棒、糸案内などからまわっていないか調べます</li> <li>● 上糸調子を正しく直します</li> <li>● 新しい針にとりかえます</li> </ul>	6 — 8 7
下糸が切れる ぬい目かとぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 針のつけ方が間違っているとき</li> <li>● 針が曲がっているとき</li> <li>● 糸のかけ方が間違っているとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 正しくとりつけます</li> <li>● 新しい針にとりかえます</li> <li>● 正しくかけ直します</li> </ul>	7 7 6
回転が重く、音が高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>● かまに糸くすがたまっているとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● かまを掃除します</li> </ul>	13
ぬいじわが出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 糸調子が強すぎる時</li> <li>● 布地と針と糸が合っていないとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 糸調子を合わせます</li> <li>● 正しく合わせます</li> </ul>	8 8
スタート・ストップ スイッチを押しても ミシンが回らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 糸巻軸が糸巻状態になっている</li> <li>● 針をかまの中に落としたままになっている</li> <li>● コントローラー(別売)がセットされている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 糸巻軸を左側へもどします</li> <li>● 針をとりのぞきます</li> <li>● コントローラーでスタートさせるか、とりはずします</li> </ul>	5 — 13
糸通しができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 針が上にあがっていないとき</li> <li>● 針がとりつけるとき奥まで突き当たっていないとき</li> <li>● 糸通しレバーをさげたまま(糸通し中)誤ってミシンを回してしまったとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● はすみ車を回して、針を最上点にあげます</li> <li>● 針を正しくとりつけます</li> <li>● はすみ車を手でわずかに向かう側(ぬうときと反対)に回します</li> </ul>	6 7 —
模様ダイヤルが回らない場合		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 押え上げレバーを上げ、はすみ車を手前に2~3回回してください</li> </ul>	—

## ■アフターサービスと保証

- このミシンには保証書がついています。
- 保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。ただしメイン基板は2年間です。
- 保証期間中でも有料になることもありますので、ご了承ください。(保証書に詳細を記載してありますので、そちらをご覧ください。)
- 保証期間経過後の修理につきましては、販売店にご相談ください。

当社は、このミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り時点から最低8年間保有しています。

# JUKI

JUKI 株式会社

〒182 東京都調布市国領町8-2-1

☎ 03-3480-7112

アフターサービスについて、ご相談、ご要望がございましたら、下記、営業所へお問い合わせください。

北海道特販営業所 …… 〒060	札幌市中央区南五条東3-14-5	☎011(512)6895
東北特販営業所 …… 〒980	仙台市青葉区錦町1-1-2	☎022(261)7081
東京特販営業所 …… 〒136	東京都江東区亀戸1-32-8	☎03(5626)2371
大阪特販営業所 …… 〒530	大阪市北区曽根崎新地2-6-21	☎ 06(348)1351
広島特販営業所 …… 〒730	広島市中区富士見町4-22	☎082(246)7711
九州特販営業所 …… 〒812	福岡市博多区博多駅東1-9-5	☎092(474)4947